

試験エリア内温度を短時間で一定値に収束させる 冷熱衝撃試験装置実用化

カトー(大阪市旭区)はオリジナルの「セルシウスカトー」ブランドで恒温機器などの環境試験器を開発、販売している。恒温機器は温度を一定の間隔で上昇や下降、維持といった制御ができる装置で、耐環境試験や研究開発のほか、熱処理や乾燥などの加工装置としても広く活用されている。製品は顧客の要望に合わせて国内で特注生産しており、細かなカスタマイズにも応じることができる技術力には定評がある。このほど、試験エリア内の温度を極めて短時間で一定値に収束させる時間を短くした冷熱衝撃試験装置を実用化した。しており、2022年はその販売を強化する。

日本の トップランナー企業

データを 見れば納得

2021年11月に電子部品メーカーへ納入した新しい冷熱衝撃試験装置について「85度Cとマイナス40度Cの耐久性試験を行うユーザーは、温度変化が激しい環境での使用が想定されるまでの時間が格段に確実に短くなった。ばらつきがなく、スムーズにエリア内の温度が収束しているデータを見てもらえば、納得してもらえないはずだ」と大久保忠廣社長は自信をのぞかせた。この装置の実用化により、温度管理がより厳格にできるだけで

は、温度変化が激しい環境での使用が想定されるまでの時間が格段に確実に短くなった。ばらつきがなく、スムーズにエリア内の温度が収束しているデータを見てもらえば、納得してもらえないはずだ」と大久保忠廣社長は自信をのぞかせた。この装置の実用化により、温度管理がより厳格にできるだけで

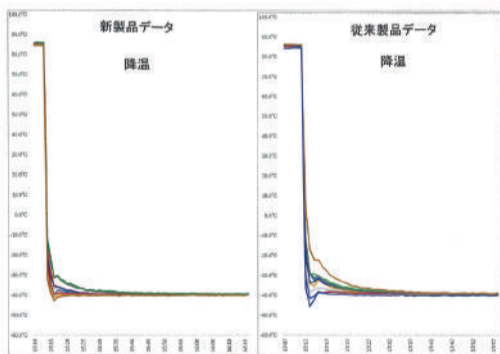
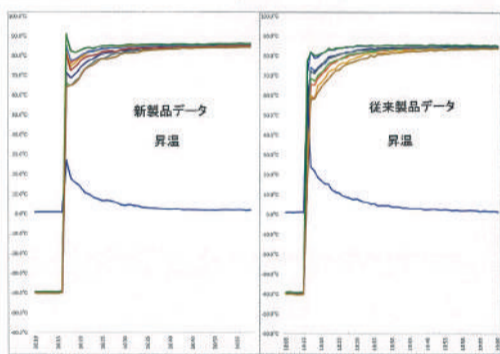


▲大久保 忠廣 社長

製品は 中身で勝負

もともと、大久保社長は、ある恒温機器メーカーに営業マンとして途中入社し、国内だけでなく、海外の製造現場にも多くの装置を納入してきた実績を持つ。09年、そのメーカーが大坂営業所を閉鎖したのをきっかけに、大久保社長がカトーを設立した。カトーはそのメーカーの西日本エリアでの販売や過去に納入した装置のメンテナ

もともと、大久保社長は、ある恒温機器メーカーに営業マンとして途中入社し、国内だけでなく、海外の製造現場にも多くの装置を納入してきた実績を持つ。09年、そのメーカーが大坂営業所を閉鎖したのをきっかけに、大久保社長がカトーを設立した。カトーはそのメーカーの西日本エリアでの販売や過去に納入した装置のメンテナ



ものづくり 精神つなぐ



▲大熱風循環式乾燥炉「CXシリーズ」

今後の経営のあり方やビジョンについて、大久保社長は「ライバル企業に先んじること、もちろん、顧客の期待にこたえるためにも、歩でも半歩でも前を走りたい」と意欲を見せる。また、「経営はヒト、モノ、カネといわれるが、その中でも一番大事なのは人である」とも考えている。現在、従業員数は6人。セルシウスのメンバーやメンテナンス担当の協力業者を入れても、総勢30人ほどのチームである。私が恒温機器メーカーに入社したのは39

今後の経営のあり方やビジョンについて、大久保社長は「ライバル企業に先んじること、もちろん、顧客の期待にこたえるためにも、歩でも半歩でも前を走りたい」と意欲を見せる。また、「経営はヒト、モノ、カネといわれるが、その中でも一番大事なのは人である」とも考えている。現在、従業員数は6人。セルシウスのメンバーやメンテナンス担当の協力業者を入れても、総勢30人ほどのチームである。私が恒温機器メーカーに入社したのは39

株式会社 **カトー**

本社所在地 〒535-0005 大阪市旭区赤川 1-6-20
営業部住所 〒535-0004 大阪市旭区生江 3-1-13

TEL 06-6921-0100(代表) FAX 06-6921-1131
E-mail info@osaka-kato.com

<https://osaka-kato.com>